

# 松くい虫被害から自然を守る

◆市内の特殊詐欺被害増

**問** 市内の特殊詐欺被害の状況とその対策について。

**答** 今年1月から7月の状況では、前年同期と比較し、件数5件、被害額393万円余多い。啓発事業を重点に行い、不審電話には警察と連携し防災行政無線で注意を呼び掛ける。また高齢者世帯には電話被害防止対策機器の貸出を年に50台を実施している。

◆災害防止の開発を

**問** 山林の太陽光パネル設置は、法の上では建築物の対象から外れており、チェックする方法が無い。最近短時間で大量の雨が集中して降るため心配だ。開発に規制を。

**答** 現在ガイドラインの策定を進めている。災害を発生させない対策、景観への配慮、雨水対策、安全対策等の地元への説明を定めることにより適正な指導をしたい。

◆被害対策は初期対応が大事

**問** 松くい虫被害地の対策は初期の対応遅れがあるのでは。



横沢 英一 (新国会)

市の抜本的な対策は出来ているのか。対策に予防・防除は有効。被害拡大前に地域毎に研究することを提案したい。

**答** 市内の被害発生は3年目、被害箇所は28カ所になっている。9月補正で緩衝帯を作りこれ等の対策を続けたい。現在、薬剤防除の考えは無いが、要望があれば地域毎の説明会や実施の研究をする。

◆高齢者に安心な地域を

**問** 両小野特別養護老人ホームは来年4月開所予定。塩尻市民は何人利用出来るのか。

**答** 入所定数29人の内、半数を見込んでいる。



松くい虫対策で緩衝帯を設定予定の小丸山遺跡付近

# 市民の暮らしを守り 願いを実現する市政へ

◆バイオマス発電について

**問** 遅れているバイオマス発電施設整備について、新聞報道があったが、塩尻市としてどの程度まで進捗状況を把握しているか。

**答** 事業着手に向け、工程や出資契約、融資契約など詳細な内容について、最終調整が進められていると聞いている。

**問** 本市の発電施設が竣工することを前提にした事業と整備に対し、竣工が遅れていることの影響は。

**答** 関連する事業としては、電気の地産地消、山のお宝ステーション事業、ペレット製造事業があげられる。発電所の着工が遅れることで、事業の可能性や規模を見極める時期も遅れるため、早期の着手を切望している。

◆子ども食堂について

**問** 市内でも子ども食堂の取組みがなされているが、さらに進めるための仕組みづくりを行政として支援できないか。

**答** 行政が直接実施すること



柴田 博 (日本共産党)

はできないが、民間の取組みを大事にしつつ、情報提供や市民からの協力申し出を事業者に伝えるなど、できる限りの協力は行いたい。

◆雇用促進住宅について

**問** 雇用促進住宅の現況はどうか。また、今年行うとしていた検討はどうなったか。

**答** 現在の入居状況は、80戸のうち42戸で、入居率は52.5%となっている。入居率改善に向けた検討のため入居者に対しアンケートをお願いしている。今後、値下げも含め、住宅の在り方や区分の変更など方向性を決めていく。



雇用促進住宅（みどりが丘住宅）